

1 単元名 「6年*組環境会議」を開こう**2 言語活動とその特徴**

本単元を貫く言語活動として「6年*組環境会議を開き、図やグラフを説明する」ことを位置付けた。

本単元は、環境やエネルギー問題に関する図やグラフの説明や、筆者の考えに気を付けながら読み、自分の言葉に言い換えて説明し直すことを目的とする。図やグラフにはそれ自体が表している意味とそれらが説明文に用いられている役割がある。図やグラフの意味や役割を押さえ、それらや筆者の考えについて聞き手が分かるように説明するためには、図やグラフと文章の内容を関連づけて読み、文章の内容を的確に押さえなければならない。このことで「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」(C読むこと)の習得ができるようにしている。

3 単元について

(1)児童観 (在籍*人)

<実態調査>「イースター島にはなぜ森林がないのか」「資料を活用して書こう」の学習より

項目	十分満足	おおむね満足	努力をする
①事実と意見を区別しながら読むことができる。	*人	*人	*人
②段落相互の関係を押さえながら読むことができる。	*人	*人	*人
③文章の内容を的確に押さえ、小見出しをつけることができる。	*人	*人	*人
④筆者の主張についてまとめ、自分の考えを明確にすることができます。	*人	*人	*人
⑤グラフや写真から事実を読み取ることができる。	*人	*人	*人

5月に実施した説明的文章教材である「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習では、事実と意見を区別しながら読み取ったり、筆者の主張についてまとめ、それに対する自分の考えを明確にしながら読んだりする力の育成をねらいとした。

この学習を通して、大部分の児童が文末に気を付けて読み、事実と意見を区別しながら読むことができるようになってきた。しかし、段落相互の関係を押さえながら読んだり、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえながら読んだりすることのできる児童は少ないことが分かった。

また、9月に実施した「資料を活用して書こう」の学習では、グラフや写真などの資料から事実を正確に読み取ることのできた児童は学級の*分の*で、残りの*分の*の児童は、資料の読み取りが十分ではないことがうかがえた。そこで、本単元では、図やグラフから読み取れることを丁寧に確認し、そこから文章の内容と対応させていきたい。また、文章の構成図を作成し、段落のまとまりや相互の関係を視覚的に押さえながら読むことで、文章の内容を的確に押さえる力を育てることができるを考える。

(2)教材観

本単元は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の指導事項ウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」と関連している。

教材文「未来に生かす自然のエネルギー」は、現在世界中の人々が直面しているエネルギー問題についてまとめられた文章である。本教材は、図やグラフ、写真が多く用いられており、エネルギー問題や現在取り組まれている解決策などについて視覚的に捉えやすくなっている。また、述べ方の特徴として、「二つの課題があります。」「一つは、」「もう一つは、」「では、」という文章表現が用いられていて、段落のまとまりがとらえやすく構成されている。図やグラフに注目させ、それらが何を表しているのか考えさせるとともに、文章の内容を的確に読むために手がかりとなる文章表現を児童に見つけさせたり、注意しながら図やグラフの用いられている役割を考えさせたりすることにより、筆者の考え方やその根拠を的確に読み取ることができるであろう。これらのことから、本単元で付けたい力を養うために最適な教材であると考える。

(3)指導観

本単元では、第2次で習得した読み取る力を生かし、第3次で環境会議を開き、図やグラフを用いて環境問題について説明するという言語活動を行う単元の構想を考えた。

第1次では、環境問題に関する数枚の写真を提示し、環境問題には様々な問題があることに触れさせる。その中でも興味をもった問題について調べ、「6年2組環境会議」を開き話し合うという目的

意識をはっきりさせ、学習への意欲を高める。その後、資料を選ぶ時間を設けるとともに、図やグラフ、写真などの資料を必ず用いることを伝え、説明するための手順や方法を考えることで、学習の見通しをもたせ、教材文を読む必要性や目的意識を持たせていく。

第2次では、「未来に生かす自然のエネルギー」の図やグラフに注目し、文章の内容と関連付けながら読んでいく。「大きな課題があります。」「一つは、」「では～でしょうか。」などの文章表現に注意しながら読むことで、内容を的確に押さえられるようにしていく。また、「始め・中・終わり」の構成や、「中」の文章の構成をとらえさせ、図やグラフを用いて説明している段落と用いていない段落との関係を押さえることで、図やグラフの意味と役割を押さえていきたい。読み取ったことを聞き手に分かりやすく説明するためには、内容を削り、要点を整理しまとめていく必要がある。ペア学習やグループ学習で図やグラフの説明を繰り返し行うことで、的確に内容を押さえられるようにする。

第3次では、第1次と第2次の学習を基に、2枚の図やグラフなどの資料を選び、環境会議にて説明する。筆者の考えを的確に押さえることができているか、図やグラフの意味と役割を整理し、聞き手に分かりやすくまとめられているか、自分の主張は明確かなどについて、友達と繰り返し交流することを通して「文章の内容を的確に押さえる力」が身に付いたことを確かめ合えるようにする。

4 単元の目標

- 教材文や資料を繰り返し読み、筆者の主張をとらえるとともに、図やグラフを説明するのに必要な語や文を進んで見つけようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 筆者の考え、図やグラフが表している文章の内容や事実と感想、意見などの関係を的確に押さえながら読むことができる。
(読むこと)
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・教材文を読み、図やグラフを説明している語や文、そこから分かる問題や課題を進んで見つけようとしている。・文章の構成や筆者の主張から、図やグラフの役割を進んで考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・筆者の考えや図やグラフが表している内容を的確に押さえながら読んでいる。・「始め・中・終わり」や文章の構成を押さえ、まとまりごとの内容や相互の関係を読み取っている。・図やグラフの役割を考えながら読んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・語句と語句との関係、話題の観点を表す語句を理解している。

6 単元の指導計画（10時間扱い）

第1次 「6年＊組環境会議を開き、環境問題について説明しよう」という目的をもち、単元の学習計画を立て、様々な資料を読む。
・・・・2時間

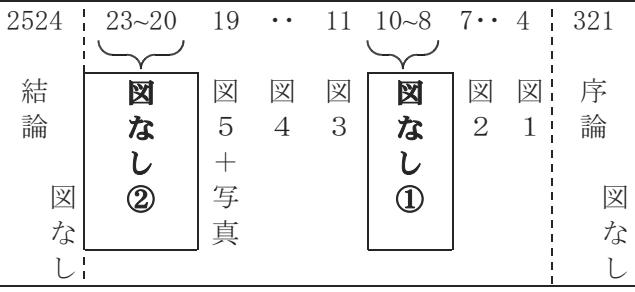
第2次

時	主な学習活動	主な評価
1	・「未来に生かす自然のエネルギー」の全文を通して読み、大まかな内容をつかむとともに、筆者の主張を読み取る。	・筆者の主張を的確におさえている。 (読む能力)
2	・「始め・中・終わり」や文章の構成を押さえ、文章の構成図を作成する。	・「始め・中・終わり」や文章の構成を押さえている。 (読む能力)
3	・図と、図について説明している形式段落を照らし合わせ、図から読み取れることを一つ一つ確認する。	・図を説明している段落の内容や相互の関係を読み取っている。 (読む能力)
④ 本 時	・構造図を完成させ、図の役割を考え、事実や感想、意見などの関係を押さえる。	・事実と感想、意見などの関係を押さえながら読んでいる。 (読む能力) ・図やグラフの役割を考えながら読んでいる。 (国語への関心・意欲・態度)

第3次 調べた資料の中から二つの図やグラフなどを選び、環境会議で説明する準備と練習し、環境会議で、環境問題について話し合う。
・・・・4時間

7 本時の学習

- (1)目標 図の役割を考える活動を通して、事実と感想、意見などの関係を押さえながら読むことができる。
- (2)準備・資料 単元の計画表（掲示用）、構造図（掲示用）、図1～5・写真を拡大したもの
- (3)展開

学習活動・内容		指導上の留意点・評価
1 本時の学習内容を確認する。 図は何のために使われているのかさぐろう。		<ul style="list-style-type: none"> 構造図を完成させることで、図の役割を探っていくことを告げ、学習の意欲を高めるとともに、ねらいをはつきりさせる。
2 構造図の図なし①②にはどのような内容が書かれているか読み取り、まとめる。【個人→一斉】 		<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動で作った構造図を使って、図がなく、空欄になっている段落には何が書かれているのか読み取っていくことを伝える。 手がかりになる大事な語や文に線を引きながら読むように伝える。 「二つの大きな課題が」「一つは、」「では、」などの文章表現に注目するとよいことに気付かせ、それを手がかりに考えさせる。 ペアで随時確認して良いことを伝える。 図なし①は図1、2に、図なし②は図3～5につながっていることを押さええる。 図を使って、書かれている内容を、ペアで説明させ、文章の内容を的確に押さえられるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> 図なし①には8段落目に「世界のエネルギー問題には、課題が2つある」と書かれているよ。 図なし②には風力発電の課題と解決策が書かれているよ。 4段落から10段落は今のエネルギー問題の現状について、説明しているんだね。 11段落から23段落は解決に向けて取り組まれていることを説明しているんだね。 		
3 図の役割について考え、話し合う。【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> 図があると、書かれていることがよく分かるね。 筆者が伝えたいことを、すぐ分かってもらうようにするために使っているのではないか。 事実を説明するのに図や写真を使うのが効果的なのではないか。 事実を示すために図を使っているんだ。 		<ul style="list-style-type: none"> 説明文になぜ図やグラフ、写真が使われているのかを話し合わせ、図の役割について考えさせる。 考えが浮かばない児童には、図があるとどのような良いことがあるのかと問い合わせ、そこから図の役割を考えさせる。 構造図を確認し、始め・終わりの筆者の主張について説得力をもたせるために、図を用いて説明していることを確認する。 序論や結論は意見が述べられていることに気付かせる。 構成図を確認し、事実のあとに感想や意見が入っていることを視覚的につかませ、効果を考えさせる。
4 形式段落①～③、⑧～⑩、⑯～⑰、⑲～⑳には、なぜ図がないのか考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 事実を説明しているところではないから、図を使っていないんだ。 ⑲～⑳は結論だよ。だから、筆者の意見が書かれているね。他の段落にも意見が書かれているのではないか。 		<p>【評】事実と感想、意見などの関係を押さえながら読んでいる。（ノート、観察）</p>
5 本時のまとめをし、次時の確認をする。 感想や事実の間に事実をはさみ、図を使って説明することで分かりやすい文章にしている。		<ul style="list-style-type: none"> 環境会議で環境問題について説明する上で、図や写真を使う大切さを確認し、説明に生かせるようにする。 計画表を指し、次時は図を用いて、自分たちの選んだ本の説明を考えることを知らせ、意欲につなげていく。